

取組内容に関する実施状況について

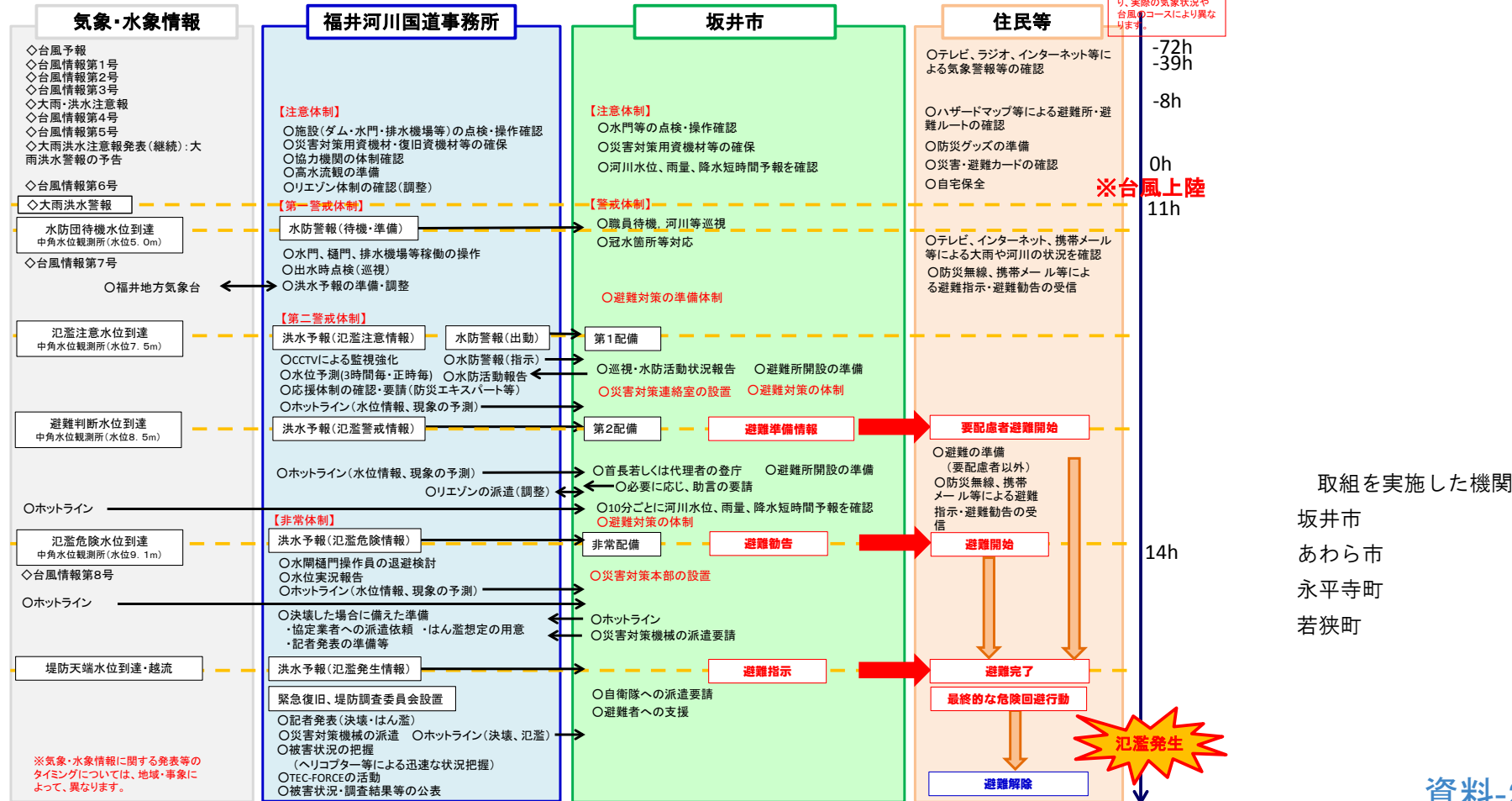
第3回九頭竜川・北川減災対策協議会

平成29年6月14日

九頭竜川・北川減災対策協議会

H28年度は、坂井市、あわら市、永平寺町及び若狭町において「避難勧告等に着目したタイムライン」を策定したことにより6市町全てにおいて策定を完了しました。今後はタイムラインに基づく演習等を実施することにより精度を向上し、速やかに避難行動に移せるよう習熟につとめます。

※本タイムラインは九頭竜川洪水予報区間の坂井市の区間(左岸0.0k~7.4k付近、22.9k~23.8k付近 右岸0.0k~12.1k付近、23.0k~24.6k付近)を対象としています。
 ※避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン(案)(内閣府:平成26年4月)を参考に作成。また、都道府県からの情報もあるが、割愛している。



※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

※時間軸については、昭和50年9月台風6号を引きのばして想定しており、実際の気象状況や台風コースにより異なります。

避難勧告等に着目したタイムライン(坂井市)

県内小学校の協力を頂き「第3回 わが家の防災コンテスト」を実施しました。この取り組みを通じて、参加された小学生をはじめ協力のご家族や地域の方々の防災意識を高めていきます。引き続きこの取り組みを拡大し次の世代へ防災意識の継承していきます。



防災教室、実験コーナー、防災パネル展、起震車体験、受賞作品のパネル展示

表彰式にあわせて、審査委員長（辻子先生）による防災教室や福井地方気象台による実験コーナーでの体験学習、福井市による防災パネル展や起震車体験、受賞作品のパネル展示などを行いました。



第3回 わが家のぼうさいコンテストを開催!

福井県内の小学生を対象として、地域の危険な場所や避難場所を盛り込んだ「防災マップ」のコンテストを開催しました。これは小学生に取り組んでもらうことにより、本人をはじめ協力のご家族や地域の方々の防災意識を高めることを目的として2年前から取り組んでいるものです。

応募対象：福井県内の小学生
募集期間：平成28年7月1日(金)～
平成28年9月8日(木)

審査会：平成28年9月16日(金)
表彰式：平成28年10月10日(月)
主催：ふくいの水防災を考える会
NHK福井放送局
福井新聞社
後援：福井県教育委員会



最優秀作品



受賞者（40名）【応募総数295点】

最優秀賞	東郷小5年	浅田 美緒
優秀賞	豊小5年	林田 ひなた
同上	春江小5年	西畑 勝人
特別賞2名・入選12名・奨励賞23名		

取組を実施した機関
福井市
あわら市
坂井市
永平寺町
小浜市
若狭町
福井県
福井地方気象台
近畿地方整備局

過去の大規模な災害の情報や、現在公表しているハザードマップ、雨量情報の確認方法について生徒の皆さんと学習しました。福井県の降水量に関する問題や出水時の対応方法についてはクイズ形式で説明を行い、参加しながら防災に関する知識を深めました。



過去の災害に関する情報

☆問題☆
 台風が近づいているとき
 川の水位を調べたい時にはどうすればいいでしょうか

- ①川を見に行く
- ②テレビ(NHK)のdボタン
- ③インターネットで調べる

クイズ形式による学習

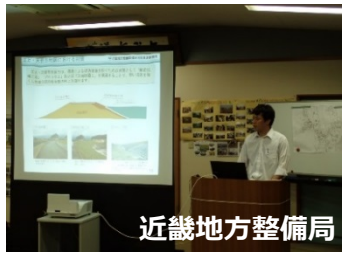
☆問題☆
 今いるところは大丈夫かな？
 危険な場所(水害)を調べてみよう

- インターネット(水害・ハザード情報)
- 洪水ハザードマップ

避難に関する情報提供



福井県



近畿地方整備局



実験コーナー
(福井地方気象台)

出前講座の実施



福井市



小浜市



福井県



あわら市



永平寺町



若狭町

- 取組を実施した機関
- 福井市
 - あわら市
 - 坂井市
 - 永平寺町
 - 小浜市
 - 若狭町
 - 福井県
 - 福井地方気象台
 - 近畿地方整備局

防災行政無線を拡充し、迅速な情報発信を行うことにより速やかに避難行動に移せるよう、これからも実施していきます。



坂井市

坂井市では平成28年度に81箇所設置し市内全域255箇所の防災無線の設置が完了しました。



永平寺町

永平寺町では平成28年度において49箇所に設置し、防災行政無線の拡充を行い迅速な情報発信が可能となりました。

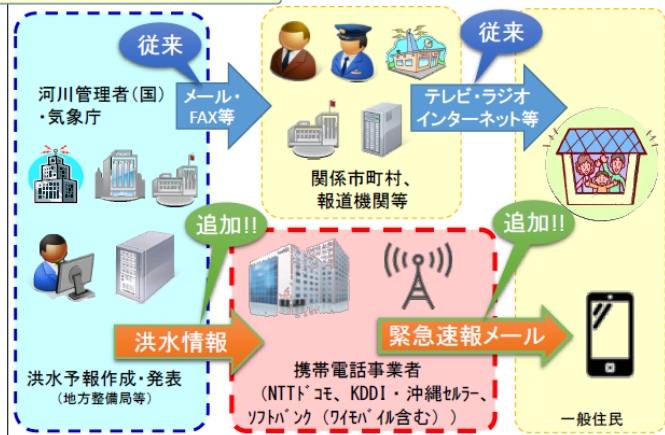
取組を実施した機関
坂井市
永平寺町

平成29年5月より、国が管理する九頭竜川、日野川、北川および遠敷川に隣接する6市町において、洪水予報などの情報を速やかに住民の方々に伝達するため、携帯電話等を用いてプッシュ型の情報発信を行います。

洪水時の逃げ遅れをなくすために

国土交通省近畿地方整備局では平成29年5月1日から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施！

情報提供のイメージは？



従来の情報提供では、住民の方は関係市町や報道機関からの情報を受け取っていましたが、今回より、地方整備局等が発表した情報を直接お手持ちの携帯端末等で確認できます！

いつから？

平成29年5月1日(月) から運用を開始

誰に配信するの？

NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク(ワイモバイル含む)携帯電話等をお使いの方に配信されます。ただし、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを利用されている方に限ります。

どの地域でどんな状態になると配信されるの？

この情報は福井市、坂井市、あわら市、永平寺町、小浜市、若狭町を対象エリアとして発信されます。なお台風などにより九頭竜川及び日野川、北川、遠敷川において国が管理する区間から、下記の状態になることが予想または発生した場合に送信されます。

- 堤防を越えて水が流れている
- 堤防が壊れて大量に水が溢れている

どんな内容が配信されるの？

河川を流れる水位状況や事象によって送信されるメールが変わりますが、イメージは下記の通りです。

①「河川氾濫の恐れ (氾濫危険水位に到達した) がある情報」	②-1「河川氾濫が発生した情報」 (堤防を越えて水が流れているとき)	②-2「河川氾濫が発生した情報」 (堤防が壊れて大量に水が溢れているとき)
<p>【見本】 (件名) 河川氾濫のおそれ</p> <p>(本文) ○○川の○○観測所(○○市)付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。本通知は、近畿地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。(国土交通省)</p>	<p>【見本】 (件名) 河川氾濫発生</p> <p>(本文) ○○川の○○市○○地先(左岸、東側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。本通知は、近畿地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。(国土交通省)</p>	<p>【見本】 (件名) 河川氾濫発生</p> <p>(本文) ○○川の○○市○○地先(左岸、東側)付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。防災無線、テレビ等により自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。本通知は、近畿地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。(国土交通省)</p>

取組を実施した機関
近畿地方整備局

詳細はコチラまで 近畿地方整備局HP

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2016/kisya20170314-1.html>

洪水時の速やかな注意喚起、避難行動に移せるよう、現在発表している洪水予報文やその運用方法について引き続き改良や改善を行っていきます。

国土地交通省 〇〇河川事務所 気象庁 〇〇気象台
 機関名
 機関名
 機関名

正規

〇〇川 はん濫注意情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
平成〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
〇〇河川事務所・〇〇気象台 共同発表

（見出し）

〇〇川では、はん濫注意水位（レベル2）に到達 水位はさらに上昇

（主 文）

〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇県〇〇市〇〇）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、はん濫注意水位（レベル2）に達しました。水位はさらに上昇する見込みです。今後の洪水予報に注意して下さい。

（雨量）

所により1時間に50ミリの雨が降っています。
今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇〇ミリ

（水位）

〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度				
	水位(m)	レベル1 水防団 待機	レベル2 はん濫 注意	レベル3 避難 判断	レベル4 はん濫 危険
〇〇〇 水位観測所 (〇〇県〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況 00日01時00分の予測 00日02時00分の予測 00日03時00分の予測	XX.X ■■■■■	■■■■■		

水位のグラフは各水位間を按分したものです。
レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位＝計画高水位の場合は最大になります。

（参考資料）

（単位：水位 (m)）

観測所名	〇〇〇水位観測所 〇〇県〇〇市〇〇	
レベル4 はん濫危険水位*	XX.X	
レベル3 避難判断水位*	XX.X	
レベル2 はん濫注意水位	XX.X	
レベル1 水防団待機水位	XX.X	
受け持ち区画	〇〇川	
	左岸 〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	
	右岸 〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	
はん濫が発生した場合の浸水想定区画	〇〇県〇〇市〇〇地区、 〇〇県〇〇市〇〇地区、 〇〇県〇〇市〇〇地区	

*避難判断水位、はん濫危険水位：水位観測所受け持ち区画内の第1位危険箇所
避難判断水位・はん濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

洪水予警報文(平成27年度)

H28年度は洪水予警報文に使用している文章において常用漢字化に伴い文章を一部修正しました。

・ はん濫 → 氾濫

気象庁 福井地方気象台

正規

九頭竜川 氾濫注意情報

九頭竜川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
平成〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
福井河川国道事務所・福井地方気象台 共同発表

（見出し）

九頭竜川では、氾濫注意水位（レベル2）に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

（主 文）

九頭竜川の中角水位観測所（福井市）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、

「氾濫注意水位（レベル2）」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みで

す。洪水に関する情報に注意して下さい。

取組を実施した機関
福井地方気象台
近畿地方整備局

広域的な水害に対して市町を越えて水防活動を実施するため合同で水防訓練を実施しました。引き続きこの取組を継続し、よりの確で効率的な水防活動を市町を越えて実施します。



市町を越えた水防訓練の実施
(H28年5月30日 テクノポート福井にて実施)



市町を越えた水防訓練の実施
(H28年10月30日 北潟公民館(あわら市)付近にて実施)

取組を実施した機関
福井市
あわら市
坂井市
福井県
近畿地方整備局

氾濫時に人命と財産を守る水防活動を更に強化するため、水防資機材の備蓄や確認を引き続き実施していきます。



資機材点検状況(坂井市)



資機材点検状況(福井市)



資機材点検状況(小浜市)



資機材点検状況(若狭町)

取組を実施した機関
福井市
あわら市
坂井市
永平寺町
小浜市
若狭町

自主防災組織の活用・強化として防災活動のリーダーに対して実践的な取組に関する報告会や、実際に災害に遭われた体験に基づく講話を実施することにより、防災知識の向上や、的確な避難行動に対する誘導方法等に関して理解を深めました。



○主な議題

- ・自主防災組織の実践的な活動と取り組みについて
- ・自主防災組織の活動発表
(参加人数142名)

リーダー研修会(福井市)
平成28年6月5日 福井市防災センター



防災リーダー研修会として、自主防災組織のリーダー等を対象に「東日本大震災の体験に基づく防災」と題し地域の防災活動や避難所の運営等について講話を実施しました。

多数の参加を頂いたことから防災への関心が高まっていることが感じられます。
(参加人数106名)

防災リーダー研修会(小浜市)
平成29年2月26日 働く婦人の家3Fホール



リーダー研修会(永平寺町)
平成28年5月29日ほか



自主防災組織の育成会議(坂井市)
平成28年10月21日ほか 市役所 多目的研修施設

取組を実施した機関
福井市
坂井市
小浜市
永平寺町

洪水に対してリスクが高い区間について、河川管理者と水防担当者が情報共有をすることにより迅速な水防活動への移行が図れるよう、今後も取り組みを継続していきます。



北川流域

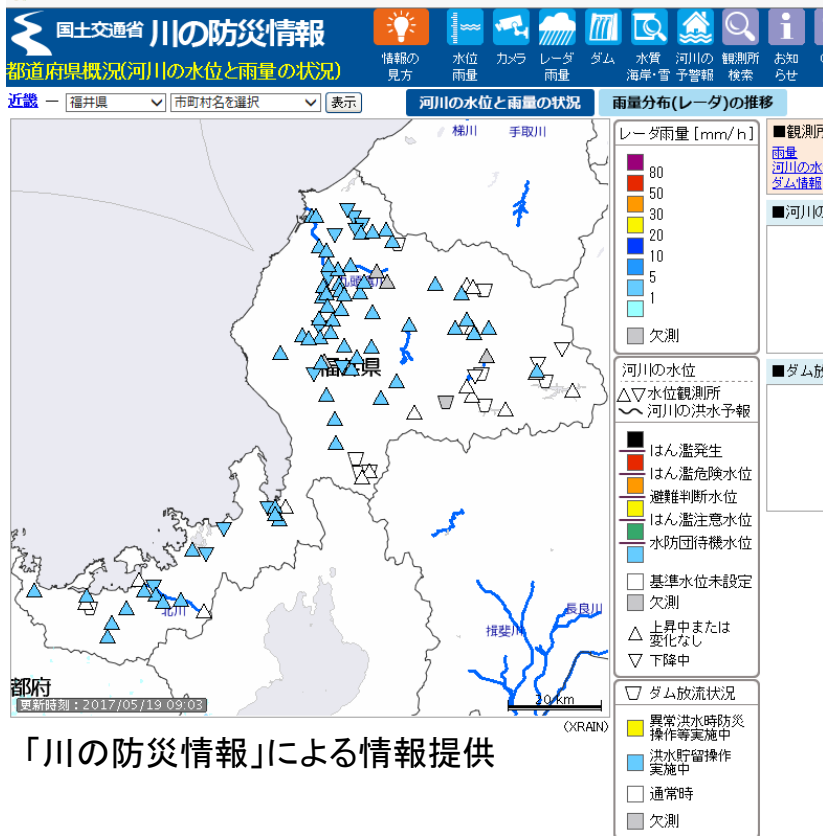
- 取組を実施した機関
- 福井市
 - 坂井市
 - 永平寺町
 - 小浜市
 - 若狭町
 - 近畿地方整備局

九頭竜川流域

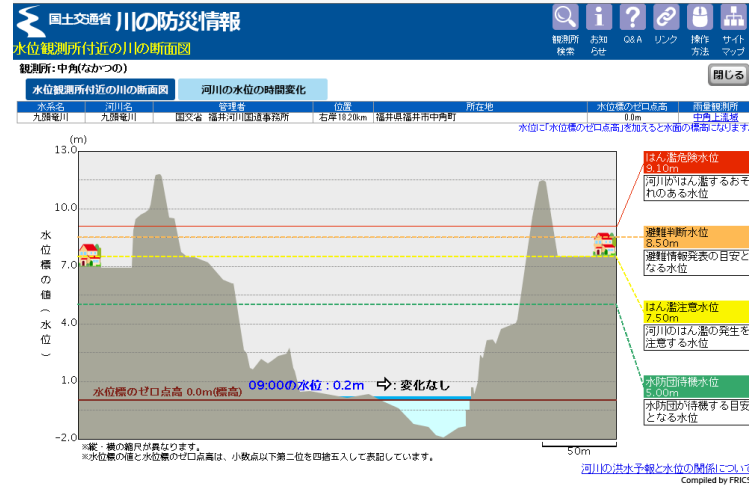
『河川情報等の迅速な状況把握と 関係機関への情報提供と共有』の実施について

九頭竜川・北川減災対策協議会

九頭竜川及び北川では大雨時の河川水位を把握するための水位計やカメラを設置し、「川の防災情報」などを通じてリアルタイムの水位情報を提供しています。引き続き表示箇所を増やすことにより、速やかに避難行動に移せるような細やかな情報提供を行っていきます。



「川の防災情報」による情報提供



観測所水位の情報提供(九頭竜川 中角地点)

取組を実施した機関
福井県
近畿地方整備局

本年度より「川の防災情報」にスマートフォン版が出来ました。ご活用ください。

「川の防災情報」パソコン版は <http://www.river.go.jp/>
スマートフォン版は <http://www.river.go.jp/s/> です。

福井河川国道が保有する通信衛星車をはじめとした災害対策用車両・機械について、県内自治体職員の方々と一緒に勉強会や操作訓練を実施しました。

この操作訓練には17市町36名の自治体職員の方々が参加し、衛星通信車両及び通信機器に関する講習会や排水ポンプ車のポンプ設置・撤去に関する実習を行いました。



Ku-SAT II 衛星小型画像伝送装置の説明



衛星通信車両に関する説明

災害用照明車両に関する説明



自治体職員によるポンプ設置・撤去実習

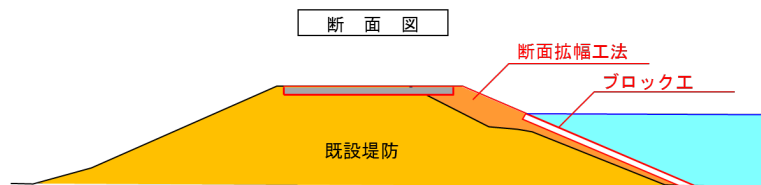
実施内容

- 平成28年6月20日(月) 13～15時
- 福井県鯖江市水落町地先(鯖江除雪基地構内)
- 1. 災害時における自治体支援に関する講習会
- 2. 災害対策用機械を用いての操作訓練
(自治体職員によるポンプ設置・撤去実習)
- 参加者 45名(自治体職員36名、国交省職員9名)

取組を実施した機関

福井市
あわら市
坂井市
永平寺町
小浜市
若狭町
福井県
近畿地方整備局

洪水を河川内で安全に流す取り組みとして、堤防の幅を広げたり、流水が接する箇所にブロックを貼ることにより、壊れにくい堤防を整備しています。



江上地区（九頭竜川）



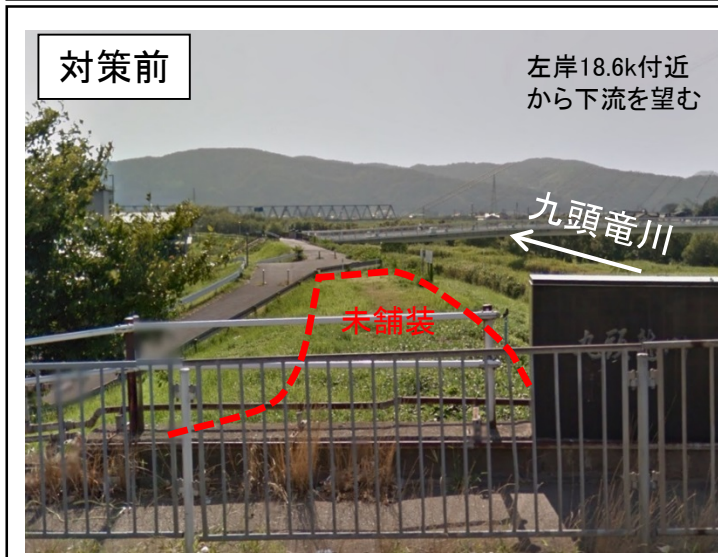
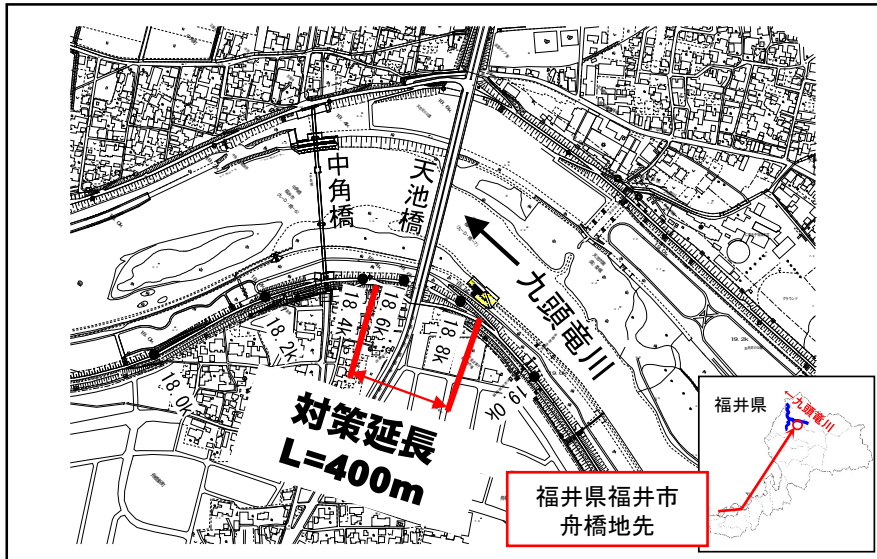
江端地区（日野川）



ブロック工

取組を実施した機関
近畿地方整備局

九頭竜川及び北川において、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策として堤防天端をアスファルトで保護する工事を、平成27年度より実施しています。



取組を実施した機関
近畿地方整備局